

8 予 防 接 種

予防接種は、感染力の強い疾病の発生及びまん延防止を図るとともに、予防接種を受けた本人が病気にかからないように、あるいは、かかっても重くならないようにするという役割や、免疫疾患等で予防接種を受けられない他者を間接的に感染から守る役割も持っています。

本市においては予防接種法等に基づき制度整備を行い、市民に対し予防接種の意義や効果、健康被害救済制度等について周知徹底を図るとともに、安全で有効な予防接種の実施に努めています。

平成30年7月以降から関東地方を中心に風しんの流行が続いたため、国の緊急対策として、これまで風しんの定期接種を受ける機会がなかった成人男性を対象に、令和元年度から3年間の時限措置で風しんの抗体検査及び風しんの第5期の定期接種を実施しています。

任意の予防接種では、妊婦への風しん感染を防止することで先天性風しん症候群の発生を未然に防ぐため、平成25年度から実施してきた成人に対する風しん予防接種費用助成事業を令和2年度も引き続き実施してまいります。

なお、定期接種では、令和2年10月から、新たにロタウイルスワクチンがA類疾病に追加されますので、安全に予防接種を行い、接種率の向上と感染防止に努めてまいります。

(1) 予防接種事業

(令和2年度予算額 261,733千円)

- ・ 予防接種法による予防接種の対象となる病気 (令和2年4月現在)

A類疾病

ジフテリア	結核 (BCG)
百日せき	H i b 感染症
破傷風	小児の肺炎球菌感染症
急性灰白髄炎 (ポリオ)	ヒトパピローマウイルス感染症
麻しん (はしか)	水痘
風しん	B型肝炎
日本脳炎	

B類疾病

高齢者の肺炎球菌感染症
高齢者のインフルエンザ

① ジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオ予防接種

平成 24 年 11 月 1 日より、4 種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ）が定期予防接種に規定され、接種が開始されました。

ワクチン名	対象年齢	標準的な接種期間	回数	間隔
沈降精製 DPT-IPV ワクチン(4混)	1 期初回 生後 3 か月 ~7 歳 6 か月に至るまで	生後 3 か月 ~1 歳	3 回	3~8 週
	1 期追加 1 期初回終了後~7 歳 6 か月に至るまで	1 期初回接種(3 回) 終了後 12 か月~18 か月	1 回	-
DTトキソイド (2混)	2 期 11 歳~13 歳未満	11 歳	1 回	-

・接種者数推移

	29 年度	30 年度	元年度
対象者数(人)	4,232	4,127	3,938
接種者数(人)	4,211	4,089	3,841
接種率(%)	99.5	99.1	97.5

※対象者数：4 種混合 1 期初回 3 回×(0 歳の 9/12+1 歳の 3/12)
+1 期追加 (1 歳の 9/12+2 歳の 3/12) +2 種混合 (12 歳)

② 麻しん(はしか)・風しん予防接種

ワクチン名	対象年齢	回数
麻しん・風しん(混合) 麻しん(単抗原)	1 期 1 歳~2 歳に至るまで	1 回
風しん(単抗原)	2 期 5 歳~7 歳未満で小学校就学前の 1 年間にある者	1 回

・接種者数推移

	29 年度	30 年度	元年度
対象者数(人)	1,862	1,671	1,677
接種者数(人)	1,821	1,660	1,646
接種率(%)	97.8	99.3	98.2

※対象者数：(1 期、2 期) 1 歳+6 歳(年長児)

③ 日本脳炎予防接種

ワクチン名	対 象 年 齢	標準的な 接種期間	回数	間隔	
日本脳炎	1 期初回	生後 6 か月～7 歳 6 か月に至るまで	3 歳	2 回	1～4 週
	1 期追加	1 期初回終了後～7 歳 6 か月に至るまで	4 歳	1 回	－
	2 期	9 歳～13 歳未満	9 歳	1 回	－

※積極的接種勧奨は国の方針に基づき実施。平成 22 年度から 3 歳に対する積極的接種勧奨が再開しており、令和元年度は満 9 歳（年度末）、高校 3 年生及び 1 期追加接種から 5 年経過した者に積極的接種勧奨を実施した。

特例対象者 ① H7.4.2～H19.4.1 生で 20 歳未満の者は、未接種分を定期接種として受けることができる

② H19.4.2～H21.10.1 生は、9 歳～13 歳未満の間に 1 期未接種分を定期接種とみなし受けることができる

・接種者数推移

	29 年度	30 年度	元年度
対象者数(人)	3,764	3,709	3,620
接種者数(人)	4,554	5,319	4,506
接種率(%)	－	－	－

※対象者数：1 期初回 2 回×（3 歳）＋1 期追加（4 歳）＋2 期（9 歳）

※特例対象者が不足分を接種したのものも含まれる。

④ BCG接種

平成 25 年 4 月 1 日より、対象年齢が生後 1 歳に至るまでの者（標準接種は生後 5 か月～8 か月）に変更され、接種方法も個別接種となりました。

ワクチン名	対 象 年 齢	回 数
B C G	生後 1 歳に至るまで	1 回

・接種者数推移

	29 年度	30 年度	元年度
対象者数(人)	748	735	699
接種者数(人)	773	746	696
接種率(%)	103.3	101.5	99.6

※対象者数：0 歳

⑤ ヒブ・小児肺炎球菌・子宮頸がん予防接種

平成 25 年 4 月 1 日より、定期予防接種に規定されました。

ワクチン名	対象年齢	標準的な接種開始・期間	回数	間隔
ヒブ (インフルエンザ 菌 b 型)	初回 生後 2 か月～5 歳に至るまで	生後 2 か月～7 か月に至るまで	3 回	4～8 週
	追加 初回終了後～5 歳に至るまで	初回接種(3 回)終了後 7 か月～13 か月	1 回	—
13 価 肺炎球菌結 合型	初回 生後 2 か月～5 歳に至るまで	生後 2 か月～7 か月に至るまで	3 回	4 週以上
	追加 初回終了後～5 歳に至るまで	初回接種(3 回)終了後 60 日以 上あけて、生後 12 か月～15 か月	1 回	—
HPV (子宮頸がん)	小学 6 年～高校 1 年生女子	中学 1 年	3 回	ワクチンによ り異なる

・接種者延べ人数推移

ワクチン名	29 年度	30 年度	元年度
ヒブ(インフルエンザ菌 b 型)	3,163	3,028	2,786
13 価肺炎球菌結合型	3,167	3,037	2,868
HPV(子宮頸がん)	3	9	49

※子宮頸がんは、平成 25 年 6 月より積極的接種勧奨を差し控えている。

⑥ 水痘予防接種

平成 26 年 10 月 1 日より、定期予防接種に規定されました。

ワクチン名	対象年齢	標準的な接種期間	回数
水痘	初回 生後 1 歳～3 歳に至るまで	生後 12 か月～15 か月に至るまで	1 回
	追加 初回終了後～3 歳に至るまで	初回終了後 6 か月～12 か月	1 回

・接種者延べ人数推移

	29 年度	30 年度	元年度
対象者数(人)	1,764	1,512	1,510
接種者数(人)	1,539	1,509	1,434
接種率(%)	87.2	99.8	95.0

※対象者数：1 歳

⑦ B 型肝炎予防接種

平成 28 年 10 月 1 日より、定期予防接種に規定されました。

ワクチン名	対象年齢	標準的な接種期間	回数	間隔
B 型肝炎	生後 1 歳に至るまで	生後 2 か月～生後 9 か月に至るまで	3 回	27 日以上あけて 2 回、 1 回目から 139 日以上 あけて 1 回追加

・接種者延べ人数推移

	29年度	30年度	元年度
対象者数(人)	2,388	2,190	2,175
接種者数(人)	2,348	2,176	2,114
接種率(%)	98.3	99.4	97.2

※対象者数：0歳

⑧ 予防接種委託医療機関

・令和2年度予防接種実施医療機関（乳幼児等）

医療機関名	住 所	電話番号	定期予防接種(接種可能な予防接種)
いでは診療所分院	三瀬戊 87	64-8853	2種混合、3種混合、4種混合、ポリオ、 日本脳炎(1期・2期)、 麻しん・風しん(1期・2期)、水痘、B型肝炎
いとうクリニック	日出一丁目 17-8	22-3200	全種類
今立小児科医院	鳥居町 2-30	24-3377	全種類
岡田医院	日吉町 11-14	22-1442	2種混合、日本脳炎(1期・2期)、 麻しん・風しん(2期)、子宮頸がん(HPV)
乙黒医院	桜新町 3-22	26-1011	BCG 以外
おのこども診療所	桜新町 12-1	28-3001	全種類
川上医院	本町三丁目 7-10	22-3050	2種混合
協立大山診療所	大山二丁目 26-3	33-1165	子宮頸がん(HPV)
齋藤医院	加茂字加茂 177	33-3030	子宮頸がん (HPV)
さくまクリニック	湯田川字中田 8-3	35-4455	2種混合、3種混合、4種混合、日本脳炎(1期・2期)、 麻しん・風しん(1期・2期)、ヒブ、 小児肺炎球菌、水痘 ※1歳以上に限る
市立荘内病院小児科	泉町 4-20	26-5111	3種混合以外
すこやかレディースクリニック	東原町 19-27	22-8418	2種混合、日本脳炎(1期・2期)、 麻しん・風しん(1期・2期)、 子宮頸がん(HPV)
たんぼぼクリニック	日枝字鳥居上 43-1	25-6000	BCG 以外
茅原クリニック	茅原町 26-23	22-8777	日本脳炎(2期)
鶴岡協立病院	文園町 9-34	23-6060	BCG、2種混合、日本脳炎(1期・2期)、 麻しん・風しん(1期・2期)、 子宮頸がん(HPV)

医療機関名	住 所	電話番号	定期予防接種(接種可能な予防接種)
鶴岡協立病院 附属クリニック	文園町 11-3	28-1830	全種類 接種日：毎週火曜日午後(要予約) 小児科のみ
はらだこども医院	西新斎町 3-7	24-8488	全種類
真島医院	山王町 3-29	25-6666	2種混合、日本脳炎(2期)、 麻しん・風しん(2期)
ましま内科クリニック	ほなみ町 7-11	33-9777	2種混合、日本脳炎(2期)、
産婦人科・小児科 三井病院	美咲町 28-1	22-3290	全種類
わかな内科医院	家中新町 11-41	25-2585	日本脳炎(1期・2期)
わだ内科医院	下川字七窪 2-1198	76-0011	ポリオ・子宮頸がん(HPV)以外
石橋内科胃腸科医院	藤島字笹花 48-15	64-2000	2種混合、3種混合、4種混合、B型肝炎 日本脳炎(1期・2期)、 麻しん・風しん(1期・2期)、ヒブ、 小児肺炎球菌、水痘
こばやしクリニック	藤浪四丁目 111-2	64-5355	2種混合、3種混合、4種混合、B型肝炎 麻しん・風しん(1期・2期)、小児肺炎球菌、水痘 子宮頸がん(HPV)
いでは診療所	羽黒町荒川字 谷地堰 42-4	62-3789	2種混合、3種混合、4種混合、ポリオ、 日本脳炎(1期・2期)、 麻しん・風しん(1期・2期)、水痘、B型肝炎
佐藤医院	羽黒町野荒町字 街道上 6-2	62-2130	子宮頸がん(HPV)以外
遠藤医院	板井川字片莖 80	57-2126	BCG 以外
桂医院	桂荒俣字下桂 105-2	57-3303	2種混合、日本脳炎(1期・2期)、 麻しん・風しん(1期・2期)、 子宮頸がん(HPV)
佐久間医院	西荒屋字川原田 98	57-2123	3種混合、ポリオ、子宮頸がん(HPV)以外
土田内科医院	板井川字片莖 75	57-5100	2種混合、3種混合、4種混合、日本脳炎(1期・2期)、 麻しん・風しん(1期・2期) B型肝炎、 水痘、子宮頸がん(HPV)
丸岡真柄医院	丸岡字町の内 291-40	57-5110	子宮頸がん(HPV)以外
(市営)大網診療所	大網字興屋 69-1	54-6005	2種混合、3種混合、日本脳炎(1期・2期)、 麻しん・風しん(1期・2期)、子宮頸がん(HPV)
(市営)上田沢診療所	上田沢字下中島 25	55-2111	2種混合、3種混合、4種混合、 日本脳炎(1期・2期) 麻しん・風しん(1期・2期)、B型肝炎、 水痘、子宮頸がん(HPV)
温海クリニック	温海字温海 28-3	33-8299	全種類

医療機関名	住 所	電話番号	定期予防接種(接種可能な予防接種)
佐藤診療所(湯温海)	湯温海甲 127-1	43-2037	2種混合、日本脳炎(1期・2期)、麻しん・風しん(2期)、
阿部医院(湯温海)	湯温海甲 122-1	43-2041	2種混合、日本脳炎(2期)、麻しん・風しん(2期)
佐久間医院(湯温海)	湯温海字湯之尻 122-21	43-3146	全種類
佐藤診療所(鼠ヶ関)	鼠ヶ関乙 49	44-2125	2種混合、日本脳炎(2期)、麻しん・風しん(2期)
みかわキッズクリニック	三川町大字猪子字 大堰端 379-7	35-0666	3種混合以外

㊟ 定期予防接種実施状況（令和元年度）

種 別		対象者数(人)	接種者数 (延べ人数)	接種率(%)	医療機関数
ジフテリア・百日せき 破傷風・ポリオ(4種混合)	1 期初回	2,139	2,097	98.0	27
	1 期追加	760	737	97.0	
ジフテリア・破傷風 (2種混合)	2 期	1,039	1,007	96.9	38
麻しん・風しん	1 期	756	742	98.1	30
	2 期	921	904	98.2	36
日本脳炎	1 期初回	1,736	1,849	—	33
	1 期追加	890	1,035	—	
	2 期	994	1,622	—	
B C G		699	696	99.6	17
ヒブ感染症	1 期初回	2,175	2,075	95.4	21
	1 期追加	755	711	94.2	
小児肺炎球菌	1 期初回	2,175	2,120	97.5	21
	1 期追加	755	748	99.1	
子宮頸がん		1,521	49	—	28
水痘	初回	755	732	97.0	26
	追加	755	702	93.0	
B型肝炎	1 回目	725	721	99.4	24
	2 回目	725	706	97.4	
	3 回目	725	687	94.8	

⑩ 風しん抗体検査及び風しんの第5期の定期接種

風しんの追加的対策として、これまで風しんの定期予防接種を受ける機会がなかった男性を対象とし、平成31年4月1日から令和4年3月31日までの時限措置として、風しんの抗体検査及び風しんの第5期の定期接種を実施しています。

- ・対象者 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性
- ・実施方法 国の方針により、令和元年度は昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性へクーポン券を送付。なお、昭和37年4月2日から昭和47年4月1日生まれの男性については希望する方へクーポン券を交付。「集合契約」により、全国の医療機関や健診機関で実施。
- ・実施者数

	元年度
対象者数(人)	13,399
クーポン券交付者数(人)	5,612
抗体検査受検者数(人)	1,366
抗体検査陰性(人)	422
風しんの第5期の定期接種者数(人)	343
接種率(%)	81.3

⑪ 高齢者インフルエンザ予防接種

予防接種法に基づき、高齢者インフルエンザ予防接種を実施し、高齢者のインフルエンザによる死亡や合併症を予防し、寝たきり予防、健康増進を図ります。

- ・対象者 ①65歳以上の方(43,867人)
②60歳から65歳未満の者で心臓・腎臓・呼吸器等の内部障害(身障手帳1級に該当)を有する方(48人)
- ・実施方法 平成28年度より個別通知を廃止し、市広報等で周知、契約医療機関に委託して実施。
接種にかかる費用のうち、対象者1人につき1回のみ1,500円を助成。
申請により、生活保護世帯者は自己負担免除、市民税非課税世帯者(但し、課税世帯の被扶養者を除く)は2,000円を助成。

- ・実施者数推移

	29年度	30年度	元年度
接種者数(人)	25,136	25,748	26,446
(再掲)対象者②接種者数	33	29	30
(再掲)生活保護	284	316	333
(再掲)市民税非課税	1,341	1,349	1,359
接種率(%)	58.7	59.0	60.2

⑫ 高齢者肺炎球菌予防接種

予防接種法に基づき、高齢者の肺炎球菌予防接種を実施し、高齢者の肺炎による寝たきり予防、健康増進を図ります。平成 24 年度 9 月から実施してきた予防接種費用助成事業は平成 26 年 7 月で終了し、同年 10 月より B 類疾病として定期接種となりました。

- ・対象者 ①年度内に 65 歳、70 歳、75 歳、80 歳、85 歳、90 歳、95 歳、100 歳及び 101 歳以上となる方で、過去に肺炎球菌予防接種をうけていない方
 - ※令和元年度～令和 5 年度までの 5 年間、経過措置が延長されたことに伴い、引き続き 70 歳以上 100 歳までの 5 歳刻みの未接種者にも接種の機会が設けられた。
 - ※101 歳以上の未接種者は、令和元年度に限り定期接種の対象。
- ②60 歳から 65 歳未満の方で心臓・腎臓・呼吸器等の内部障害(身障手帳 1 級に該当)を有する方
- ・実施方法 対象者に個別に通知し、契約医療機関に委託し実施。
対象者 1 人につき 1 回の接種に 4,000 円を助成。申請により、生活保護世帯者は自己負担免除、市民税非課税世帯者(但し、課税世帯の被扶養者を除く)は 5,000 円を助成。
- ・実施者数推移

	29 年度	30 年度	元年度
接種者数(人)	4,102	3,751	1,877
(再掲) 対象者②接種者数	4	6	8
(再掲) 生活保護	30	37	16
(再掲) 市民税非課税	227	232	82
接種率(%)	45.1	41.2	32.6

⑬ 風しん予防接種費用助成事業

- ・対象者：①妊娠を希望している 25～50 歳(R2.4.1 時点)の女性
 - ②抗体価が不十分と判定された上記①の夫及び同居家族
 - ③妊婦(抗体価が不十分である、または妊婦健診での風しん抗体価結果判定前)の夫および同居家族
- ・事業内容：申請時に交付した助成票により実施医療機関で抗体検査を受け、抗体価が十分でない判定された場合ワクチン接種。
抗体価検査・ワクチン接種ともに全額助成。

・実施者数推移

(人)

	29年度	30年度	元年度
抗体価検査	180	393	151
麻疹風しん接種	38	114	51
風しん接種	57	85	75
償還（抗体価検査）	0	3	0
償還（接種）	0	3	1

※令和元年度対象者：①妊娠を希望している 24～50 歳（H31.4.1 時点）の女性

（昭和 43 年 4 月 2 日～平成 7 年 4 月 2 日生まれ）

②抗体価が不十分と判定された上記①の夫及び同居家族

③妊婦（抗体価が不十分である、または妊婦健診での風しん抗体価結果判定前）の夫および同居家族

（2）予防接種対策委員会

鶴岡市で行う予防接種の実施、接種による健康被害について、適正な運営と解決をはかるため、市長の諮問機関として「鶴岡市予防接種対策委員会」が設置されています。

委員会は 8 名以内で、学識経験者 3 名、鶴岡地区医師会より 3 名、専門医 2 名で構成されています。令和元年度は、令和元年 7 月 30 日（火）、令和 2 年 2 月 18 日（水）の 2 回開催しています。